



チーズの種類と競争力のある価格

供給先の選択肢を拡げます

アメリカは移民の国であり、文化のつぼです。アメリカにおけるチーズ作り技術の多くは、欧州の最高級のチーズ作りの技術を持った移民達が夢と共に移住し、受け継がれてきたものなのです。遡ることおよそ2世紀前、これがアメリカチーズ産業の始まりなのです。職人たちは、それぞれの故郷でよく食べられていた「パルメザン」や「フェタ」をはじめとする、数種類のチーズの製造からはじめ、今日までその伝統を受け継いでいます。これらのチーズがアメリカの人々のお気に入りとなってから既に長い年月がたっており、また他の多くの国においても人々の心をつかんできました。しかし今日、懸念すべき状況が広がっています。アメリカで作られるとても人気の高い一部のチーズの名称が、欧州連合(EU)により存続の危機に晒されているのです。EUはこれらの名称の独占的所有権を主張しているのです。

皆様にはどんな影響があるのでしょうか？

EUが行っているこの取り組みは、アメリカをはじめとする主要な輸出国からの乳製品の供給が制限されてしまう可能性があるのです。もしこれが具現化されてしまうと、チーズ輸入者は将来的に取り引きできるサプライヤーの幅が大幅に限定され、コストの上昇に繋が

る可能性があります。

さらにバイヤーの皆様は既存の取引関係や築き上げてきたビジネスを変えなければならない状況に追い込まれる可能性すらあるのです。その結果、市場シェア、売上、そして収益性にまで打撃を与える可能性があります。



ご存知でしたか？

- 2014年にギリシャ以外の国で生産されたフェタチーズの量は790,000トンを上回っています。これはギリシャでのフェタチーズ生産量の10倍以上です。また、フェタチーズの総輸出量の64%はギリシャ以外で生産されたものとなっています。
- 2014年に世界で生産されたパルメザンチーズ622,817トンの49%がイタリア以外の国で生産されており、パルメザンチーズの全世界での総取引量の72%がイタリア以外の国で生産されたものでした。
- アメリカのチーズ作りの歴史は古く、ヨーロッパから最初の移民がやって来た時代にさかのぼります。今日、アメリカは世界最大のチーズ生産国となっており、2014年には530万トンを生産し、世界のチーズ需要に応えるべく、多様な製品を提供し、安定した供給を実現しています。



地域的表示、つまり特定の地域に関連した製品の名称を保護する規制の過剰な適用を阻止すべく国際的取り組みが行われており、アメリカからも多くの企業が参加しています。これら企業は食品一般名称コンソーシアムを通じておよそ12か国における同業者らと協力し、競争力ある世界供給の機会を脅かすEUの動きと戦っています。

様々な国で生産されるチーズ、肉類をはじめとする製品を供給するエンドユーザーと輸入業者は、この問題を認識し、EUの動きを阻止する取り組みを支援する必要があります。何故なら、消費者は自分のお気に入りの製品名を覚え、信頼して買い物をしているからです。欧州の企業だけが人気の高いチーズやその他の製品を消費者に認識される名称で販売することが許される状況になれば、市場で取り扱われるチーズの種類は減少し、競争力も低下します。その結果、供給の選択の幅が一層制限されるため、コストは上昇し、バイヤー、ひいては消費者にマイナスの影響がもたらされるのです。

地域的表示(GI)はイタリアのパルマ地区で生産される「パルミジャーノレッジャーノ」や「オランダ ゴーダ」といった特産品の名称を保護するもので、アメリカのチーズ生産者はGIのコンセプトに反対しているわけではありません。しかし、これらのGIを使用する権利を持っている企業が、GIの範囲に於ける個別の語として使われることの多い「パルメザン」、「ゴルゴンゾーラ」、「アジアーゴ」そして「フェタ」のような一般名称にまで保護対象を拡大しようとするのであれば、それは競争を阻害することを目論んだ過剰適用に他なりません。

EUは以下に挙げる国々との自由貿易協定(FTA)において、GIの保護対象を不当に拡大しようと強力な取り組みを行っており、残念ながら成果を上げている例もあるのです：

■ **韓国**：欧州以外のチーズ生産者は今後、アジアーゴ、フェタ、フォンティナ、ゴルゴンゾーラを少なくともこれらの名称で韓国において販売を行うことは認められません。この規制は韓国とのFTAにおけるEUからの要求のみに基づき織り込まれたものです。この規制により、これらのチーズをどの国のどの企業から調達するかについての選択肢が著しく制限され、韓国の輸入業者に影響を与えています。

一般名称チーズ



フェタ



ゴルゴンゾーラ

ある限られた団体のみが一般名称を「保有」することを試みた場合、世界各地の輸入者と消費者に人気のある多くの食品に弊害が生まれてしまいます。

■ **シンガポール:** シンガポールはEUとのFTA交渉において、シンガポール当局がとて多くのGIについて調査を行い、調査終了後にこれらGIの保護を行うことに合意しました。対象となった名称にはシンガポール企業が需要を築き上げてきた種類のチーズも含まれています。既存の製品のサプライヤーはEUにより認められていない国であるため、規制が適用される可能性に直面しているのです。例を挙げると、シンガポールがEUとのFTAの一環としてフェタという名称をGIとして保護することに合意した場合、デンマークとオーストラリアで生産されたフェタチーズを輸入している企業は、コストの高いギリシャのサプライヤーを新たに見つけなければならない状況に追い込まれる可能性があるのです。

■ **コスタリカ:** パルメザンという名称はコスタリカをはじめとする世界の各国で長年にわたり使用されていますが、コスタリカは現在、パルメザンという名称の使用をイタリアの生産者のみに制限しています。この判断は国内で数十年間にわたりパルメザンチーズ製品を販売している国内の生産者、そして近年になりアメリカからコスタリカに進出し、供給の選択肢を拡大することでパルメザンチーズの需要を築き上げる一翼を担ってきた企業に打撃を与えています。

アメリカは多くの種類のパルメザンチーズを製造してきた長い歴史をもっており、他の国々と同様に一般名称の保護に関する問題を重く受け止めています。パルメザンチーズがアメリカで生産されるようになってから1世紀以上が経っており、アメリカ企業が生産したパルメザンやフェタをはじめとするチーズは多くの国際的な賞を受賞しています。しかしこれらの名称は今や使用が脅かされているのです。競争と世界におけ

る供給の選択肢を制限しようとするEUの動きは、より開かれた市場を目指し、バイヤーと消費者により幅広い選択肢をもたらそうとする世界的なトレンドに著しく逆行するものです。このままある限られた団体のみが一般名称を「保有」しようとした場合、世界各地の多くの人気食品の売り上げが損なわれ、阻害されてしまいます。

アメリカ乳製品輸出協会はアメリカの乳業界を代表し、チーズの国際市場にもたらされ得る影響に焦点を当てていますが、この問題は食肉、ワイン、および農産物部門における企業にもリスクをもたらしています：

■ 生産者や輸出業者の多くが製品ラベルの張り替えや商標の変更という困難かつ多額の費用の掛かる作業を検討することを強いられ、マーケットピリティに影響が及び、国際的に認知されているブランドの価値が低下し、消費者を混乱させることになるでしょう。

■ チーズ製品やブランドのマーケットリーダーとなる輸入業者と再輸出業者は、輸入したチーズにEU域外の国々による使用が認められていない名称がついていた場合、訴訟を起こされる可能性があります。また、海外拠点での事業のために長年を掛けて築いてきた貴重な市場を失うことにもなりかねません。その結果、ブランド構築のために過去に行った投資に対するリターンや、現在の売り上げと収益に打撃が及ぶのです。

■ 小売業者は販売できる人気商品の数が減少し、臍頂の顧客から疑問や批判を投げかけられることになるでしょう。取り扱うことのできる有名なチーズの種類が減り、その結果、小売業者のマージンが縮小する可能性があります。

▼ チーズの種類と競争力のある価格

供給先の選択肢を広げます

■ 消費者はもはや、馴染みのある製品を認識できなくなり、お気に入りの製品やブランドについて混乱することになるでしょう。店で販売されているチーズの種類が減る上、見覚えのある製品の種類の中での競争が弱まるため、値段も上がってしまうでしょう。

あなたに協力できることは？

一般食品名称に関わるコンソーシアム(CCFN)は独立した非営利の国際協力機関であり、公有のものとなっている一般名称を独占しようとする試みを阻止することに努めています。CCFNは本来の地理的表示と食品の一般名称の双方を保護する適切なモデルの導入を後押しすることを目指しています。CCFNはアメリカ乳製品輸出協議会とアメリカに於ける複数の大手チーズ生産者、そして中南米やオーストラリアをはじめとする地域の生産者により設立されました。多くの国でGIに関する方針が導入され始めており、これらの国々の食品の生産者や小売業者も一般名称の保護に関心を持ち始めています。



CCFNは2012年の設立以来、この深刻な問題についての認識を高め、一般名称に対する危機を排除することに於いて成果を上げています。

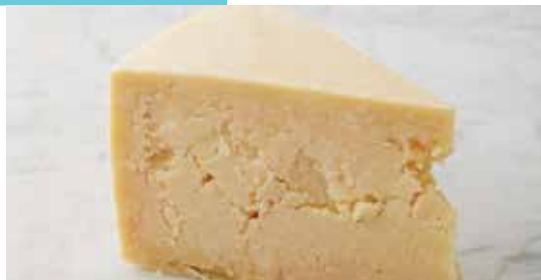
CCFNについての更なる情報、そして世界の生産者、バイヤー、エンドユーザー、消費者を代表するCCFNのミッションをCommonFoodNames.comでご覧いただけます。

私たちは生産者およびバイヤーを含む関連企業の皆さんに、CCFNと共に世界における供給の選択肢に対して高まる危機と戦うことを呼びかけています。この活動に参加するには、CCFN (info@commonfoodnames.com) にご連絡いただき、CCFNに参加するか、あるいは貿易と競争を巡るこの問題に関するあなたの国の政府に対する活動を促進するための情報をご請求ください。■

地理的表示 VS 一般名称



パルミジャーノレッジャーノはイタリアのパルマ地域でのみ生産されるもの。



パルメザン是一般名称であり、世界の複数の国で生産されるもの。



ご連絡はこちらへ

- この問題に関する更なる情報はCommonFoodNames.comでご覧いただけます。
- CCFNへの加盟、あるいは貿易と競争を巡るこの問題に関するあなたの国の政府に対する活動を促進するための情報についてはCCFN(info@commonfoodnames.com) にご連絡ください。
- USDECまで直接ご連絡いただいても結構です。お近くのUSDEC代表機関をお探しの方はThinkUSAdairy.org/global-presenceをご覧ください。



U.S. Dairy
Export Council

Ingredients | Products | Global Markets